

## 個別のプログラムの詳細と、スタッフの状況に関する報告

### 1. 個別のプログラムの詳しい内容・留意事項

#### ○全体を通して

手話のできないきこえる保護者のために、手話通訳ができるきこえるスタッフ(以下「通訳兼任スタッフ」という)等を配置し、音声による情報保障や手話通訳により、きこえないスタッフ(以下「ろうスタッフ」という)やきこえない保護者とのコミュニケーションが図れるようにしている。また、こめっこにおける手話は、ネイティブサイナーによるネイティブの手話とする。

#### ○絵本読み

- ・「こめっこ」での絵本については3歳児でもついていける、分かる内容のものを選んでいく。
- ・「こめっこ」の参加を通じて、子どもたちの手話力が少しずつ向上しており、その手話力のレベルに合った絵本を選んでいく。
- ・絵本読みが手話劇になってしまわないように、座って語ることにより、あくまでも絵本読みとして実施している。これによって、「手話」に重きを置くようにしている。
- ・きこえる子どもと同じように、絵本を通して、「知りたい」、「分かる」、「なんだろう?」といった知識欲、理解欲、疑問をもつ体験をする。
- ・保護者が絵本読みの手話を通じて、手話を学んで習得できるよう、音声による通訳も保障する。

#### ○手話表現遊び

- ・音楽に合わせるのではなく、「きこえない人達がそのまま表現するとどうなるか」を体験する。
- ・手話ならではの表現などの要素を盛り込み、楽しみながら手話を覚えることができるようにする。

#### ○0-2 歳児グループ

手話を母語とする成人による手話表現遊び(名前呼び、手遊びを手話表現にアレンジするなど)および絵本読みを行うことで以下の機会を提供する。

- ・聴覚障がいがあっても、目でみることばである手話を通して、楽しくやりとりできることに気づく
- ・聴覚障がいのある成人スタッフと出会い、関わることで、子どもの将来像を保護者が描くことができるようにする。
- ・保護者と子どもが共に楽しく過ごし、同じ体験を共有する中で、自然に手話に触れ、自然に手話をつかうことができるようにする。
- ・ろうスタッフが子どもと目を合わせて、子どもが自然に手話でやりとりする様子を保護者に見てもらうことで、保護者に子どものコミュニケーション能力とその成長を実感してもらう以上のことを通じて、保護者が手話を習得し使う意欲、子どもが自然に手話を獲得し、コミュニケーションを取ろうとする気持ちをほぐす。

### ○手話つくろう

- ・手話の手型から、生き物や植物、乗り物、ことばなどを手話で表現する。
- ・絵カードを使うことで、手話の表出を促したり、心の中のイメージと手話を結び付けたりする。
- ・保護者にも参加してもらうことにより、子どもたちにも保護者にも、より楽しみながら手話を習得してもらう。

### ○スタッフクイズ、職業なぞなぞ、日常生活クイズなど

- ・きこえる子どもが普通の生活の中で理解したり習得したりしていくような知識を盛り込んで、遊びながら、それらを覚えていくことができるようにクイズの内容を作っていく。
- ・決まった正解だけではなく、それ以外の見方や考え方も引き出し、子どもが自分で考えてみて、理解することができるよう、プレイフルな環境をつくっていく。
- ・より多くの手話表現を見ることができるよう理由や回答を文章にして豊かな手話表現で子どもに伝える。

### ○手話ろうタイム(保護者向けの簡単な手話の講座)

- ・「手話はやはり難しい」と思われぬように、2 語文、3 語文を中心に例文を考える。
- ・家に帰ったらすぐに使える例文、単語を考える。
- ・手話を覚えるのが初めてである保護者が持つ手話への疑問に答えたり、手話の由来や意味を分かりやすく伝えるために、手話を習得した聴スタッフによる音声での説明を取り入れたりする。

### ○保護者同士の交流会

- ・同年齢、異年齢を持つ保護者との交流を通して悩みや問題の共有、情報交換を行う。
- ・必要に応じて臨床心理士等によるファシリテートも行う。

### ○ろうスタッフによるミニレクチャー(体験談)

- ・ろうスタッフの生い立ちを保護者に聞いてもらい、子どもの心身の成長に必要なことや将来についての見通しを考えてもらう
- ・きこえないこと、手話について知り、理解を深める

### ○第二部(2 歳以下の子どもと 3 歳以上の子どもとで部屋とプログラムを分けて行う「あそび」の場。当然、手話を中心としたコミュニケーションを行う。ここでは、3 歳以上の子どもに限る)

- ・遊びの中で、子どもたち(きこえる、きこえないに関わらず)が自然に手話を見て、手話を使う機会をつくる。
- ・さまざまなスタッフの手話による会話を見て、手話による会話に参加する機会をつくる。
- ・遊びの中で発生するスタッフ同士、子ども同士、スタッフと子どもの話し合いについて、なぜそのような結論になるのかの過程や、遊びのルール(こまかいことやその日に子どもたちとスタッフとの話し合いで決めることも含む)を手話で丁寧に説明し、集団や2人で一つのことを決めようとするときの意思形成の過程や、話の流れを理解できるようにする。

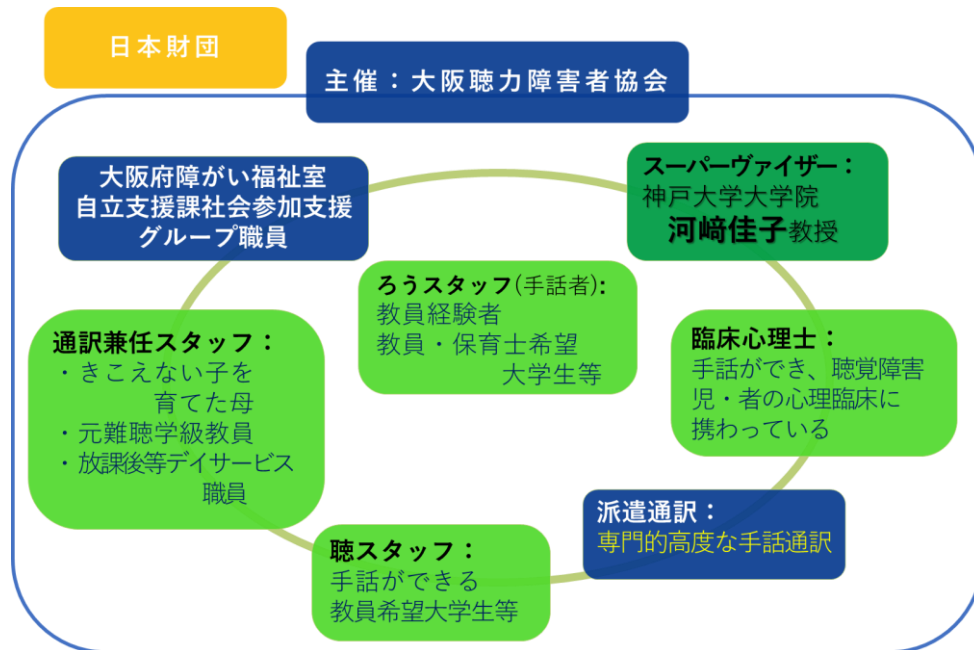
## 2. 個別のプログラムを開発するのに、どれだけの人員・時間をかけてきたのか

- ・1回の活動について、最低2時間のミーティングをおおむね2回実施。ひとつひとつのプログラムについて、子どもの心理発達や、保護者支援を専門とし、「こめっこ」の提唱者・発案者であるスーパーバイザー（河崎佳子神戸大学大学院教授）とメインスタッフ2名（大阪聴力障害者協会職員）とで、それらの詳細を話し合い、決定。また、実施にあたっては、準備やリハーサルも入念に打ち合わせ。「こめっこ」に参加している子ども個々の発達状況に合わせて、当日の活動内容や手話表現を決定。
- ・活動中に把握した子どもの発達状況などや、スーパーバイザーやスタッフの気づき、保護者からの相談などの内容などを記録し、データベース化している。
- ・当日に参加するサブスタッフについては、「こめっこ」活動開始時間の1時間前に、内容や留意点に関するミーティングを実施。また、活動後も1時間程度のミーティングを通して、次回に向けた意思や情報の共有を図っている。
- ・活動後のミーティングでは、子どもたちそれぞれの様子や、スタッフ自身の気持ちの変化、対応に困っていること、活動中の改善点を話してもらい、次回以降の活動に生かしている。
- ・年間で4回、各回約2時間のこめっこスタッフ研修を行った。こめっこの目的、方向を共有したり、絵本よみの研修をしたりして、こめっこスタッフの育成を図っている。

### ○プログラム開発の具体例として、

- ・絵本に関しては、毎回の「こめっこ」ごとに、参加する子どもたちの手話等のレベルや状況に合わせてスーパーバイザーとメインスタッフとで議論をし、どの絵本を選ぶのが適切かを決めていく。併せて、絵本の内容の伝え方や表現方法についても、リハーサルをして事前に確認をしている。
- ・手話ろうタイム（保護者向けの簡単な手話の講座）については、絵本と同様に参加する保護者の手話等のレベルに合わせて、毎回のテーマや例文を検討している。手話表現については、メインスタッフ2名（手話が母語）で話し合って決めている。さらに、事前に動画を撮り、活動日には動画に直接アクセスができるQRコードと各単語の写真付き資料を配布している。また、活動日の翌週にはfacebook や youtube にアップロードし、保護者が復習できるようにしている。

### 3. 「こめっこ」のスタッフ状況



#### ○スーパーバイザー

- ・「こめっこ」の提唱者・発案者。
- ・子どもの心理発達、保護者支援の専門性を有する存在。
- ・きこえない子どもたちが、「手話を見て理解する」、「手話で伝える」、「手話で考える」ことができるように、「こめっこ」をどう展開していった、どこを目指していくかといった具体的な部分、目的を具現化させる役割を担っている。そのために、「こめっこ」スタッフと密にミーティングをして、活動中も全体を見ながら必要に応じてアドバイスをしたり、進行管理をしたりする。ミーティング(反省会)でもスタッフ全体の意見を取りまとめ、共有化していく存在である。ただし、あくまでも手話獲得の場であることを考慮し、ろうスタッフよりも前に立つことは極力しない。

#### ○ろうスタッフ

- ・中心となるメインスタッフ2名(手話が母語)は、流れや内容を考え、スーパーバイザーと密にミーティングをする。また、活動日に向けて使用する教材の準備(作成・確保など)を行う。
- ・活動中は全体の進行のほか、第二部に移行した後も中心的に他のスタッフへの指示や、保護者や子どもたちへの説明を担う。
- ・サブスタッフ(教員、保育士志望のろう大学生等)は、活動中のサポート、子どもや保護者と交流を担う。
- ・きこえない子どものロールモデルが、ろうスタッフ全員の役割である。

#### ○通訳兼任スタッフ

- ・手話通訳士の資格だけでなく、きこえない子を育てた経験や、元難聴学級の教員、放課後等デイサービス職員等、実績を有する。
- ・活動中の通訳やサポート、保護者間、保護者とスタッフ間の橋渡しの通訳をする。

○聴スタッフ(手話ができる教員志望の大学生等)

- ・活動中のサポートや、子どもや保護者と交流をする。
- ・子どもたちが、きこえる存在を平等な立場で知ることができる存在である。

○臨床心理士

- ・新規の参加者に対する初回面接や保護者交流の進行、保護者からの相談対応等を担当しながら、「こめっこ」活動全体の流れをモニター(観察)する役割がある。

# こめっこ活動報告

○これまでの活動実施日（2018年度）

2019年3月31日現在

#1	4月7日	ドーンセンター	
#2	4月21日	ドーンセンター	
#3	5月19日	ドーンセンター	こめっこスタッフ黒木ミニレクチャー
#4	6月2日	ドーンセンター	こめっこに参加しているきこえない父親による講演
#5	6月16日	ドーンセンター	小埜真理子氏ミニレクチャー「デフ文化の中で」
#7	7月21日	ドーンセンター	
#8	8月4日	ドーンセンター	こめっこスタッフ梁谷ミニレクチャー
#9	8月18日	ドーンセンター	こめっこスタッフ久保沢アンコールミニレクチャー（活動前） こめっこスタッフ吉本ミニレクチャー（活動中）
#10	9月1日	ドーンセンター	こめっこスタッフ笹倉ミニレクチャー
#11	9月15日	ドーンセンター	こめっこスタッフ物井アンコールミニレクチャー（活動前）
#12	10月6日	ドーンセンター	こめっこサブスーパーバイザー中尾恵弥子氏ミニレクチャー
#13	10月20日	ドーンセンター	こめっこスタッフ横田アンコールミニレクチャー（活動前） こめっこスタッフ星野ミニレクチャー（活動中）
#14	11月3日	ドーンセンター	
#15	11月17日	ドーンセンター	こめっこスタッフ久保沢から報告「第二部の3歳以上の活動内容について」
#16	12月1日	ドーンセンター	
#17	12月15日	ドーンセンター	こめっこスタッフ千田ミニレクチャー
#18	1月19日	ドーンセンター	
#19	2月2日	ドーンセンター	菅原仙子先生講演会「きこえない子の早期支援～なぜ手話が大切か～」
#20	2月16日	ドーンセンター	大阪聴力障害者協会職員 廣田しづえさんミニレクチャー
#21	3月2日	ドーンセンター	こめっこスタッフ星野アンコールミニレクチャー
#22	3月16日	ドーンセンター	こめっこスタッフ黒木・横田ベトナム研修報告

※2018年7月7日（#6）は大雨警報が発令されたため、中止した。

## ○こめっこの主な活動の流れ

受付 13:00～

第一部 13:30～14:20

休憩 14:20～14:30

第二部 14:30～16:00

子どもと保護者ともに活動			
なまえよび、手話表現遊び、絵本			
第一部	0～2歳児グループ	3歳児以上グループ	
	保護者も一緒にやりとりを楽しむ	楽しみながら、手話に触れる遊びをする	
	子どもたちのなまえよび絵本、手話表現遊びなど	手話つくろう、好き嫌いなあに、クイズ（手話による説明）など	
休 憩			
第二部	保護者	0～2歳児グループ	3歳児以上グループ
	手話ろうタイム10！（ミニ手話学習会）	保護者が見えるところでスタッフと遊ぶ	部屋を移動し、子どもとスタッフで遊ぶ
	ミニレクチャー 保護者同士の交流 講演会など	絵本、パズル、お絵かきなど	手話かるた、ルールのあるあそび、神経衰弱、絵本など

○取材に来られた報道機関 1組（放送1番組）

○主な見学者の所属先

NHK大阪放送局、大阪市立大学医学部附属病院、兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課、大阪府手話言語条例評価部会、公明党大阪府議会議員団、大阪府立大学、大阪保健医療大学、慶応大学、佛教大学、京都大学学生総合支援センター、群馬大学大学教育・学生支援機構学生支援センター、国立障害者リハビリテーションセンター学院、大阪府立中央聴覚支援学校、横浜市立ろう特別支援学校、兵庫県聴覚障害者協会、兵庫県立聴覚障害者情報センター、ゆうなぎ園、NPO法人ひまわり など

○参加家族数・参加保護者数・参加子ども総数

実施回	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11	#12	#13	#14	#15	#16	#17	#18	#19	#20	#21	#22	計
実施日	4/7	4/21	5/19	6/2	6/16	7/7	7/21	8/4	8/18	9/1	9/15	10/6	10/20	11/3	11/17	12/1	12/15	1/19	2/2	2/16	3/2	3/16	
参加家族数	11	19	18	15	16		15	13	17	13	15	12	15	13	16	5	15	15	29	14	19	19	243
参加保護者数	13	21	20	20	21	中止	18	15	23	18	18	14	22	18	21	5	18	19	35	14	22	24	304
子ども参加総数	16	23	21	21	24		20	17	24	17	21	15	19	19	22	5	19	20	36	18	27	25	323

※子ども参加総数には、きこえる兄弟姉妹および小学生以上を含む

○参加子ども内訳

年齢	親・子	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10	#11	#12	#13	#14	#15	#16	#17	#18	#19	#20	#21	#22	計
当年誕生	聴・ろ	0	0	0	0	0		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	4
	ろ・ろ	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ろ・聴	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
0歳	聴・ろ	2	0	1	1	1		1	0	1	0	1	0	2	1	1	0	1	1	3	0	1	0	14
	ろ・ろ	0	1	0	0	2		2	1	2	1	1	0	1	1	0	1	2	0	2	0	2	1	15
	ろ・聴	0	0	0	0	0		0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	6
1歳	聴・ろ	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	ろ・ろ	0	1	0	0	1		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	ろ・聴	0	1	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2歳	聴・ろ	3	4	3	3	2		3	4	3	3	3	2	3	4	5	1	4	1	3	2	2	1	51
	ろ・ろ	0	1	0	0	2		1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	9
	ろ・聴	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳	聴・ろ	0	0	1	1	0		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
	ろ・ろ	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ろ・聴	0	0	0	0	0		1	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7
4歳	聴・ろ	0	0	1	1	1		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4
	ろ・ろ	1	1	1	1	1		1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	2	1	1	1	2	15
	ろ・聴	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳	聴・ろ	5	10	10	10	6		5	6	6	7	7	7	3	6	5	3	7	6	13	8	8	8	109
	ろ・ろ	0	1	1	1	3		1	1	1	1	2	0	0	1	2	0	1	3	3	2	3	3	19
	ろ・聴	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1
計	聴・ろ	10	14	16	16	10		10	10	11	11	11	9	9	11	12	4	13	9	21	11	14	13	186
	ろ・ろ	1	5	2	2	9		5	4	7	3	4	1	2	3	3	1	4	5	7	3	6	6	61
	ろ・聴	0	1	0	0	0		1	0	2	0	1	2	5	0	2	0	0	3	0	0	1	1	17
計		11	20	18	18	19	0	16	14	20	14	16	12	16	14	17	5	17	17	28	14	21	20	264

※ 聴・ろう …きこえる親・きこえない子  
 ろう・ろう…きこえない親・きこえない子  
 ろう・聴 …きこえない親・きこえる子

○年間参加家族数 59 家族（内新規 27 家族）

○出張こめっこ 計6回

○2018年度講演等 計16回

講演先:大阪府市町村聴覚障害者福祉担当職員等連絡協議会、滋賀の聴覚障害教育を考える会、  
 社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会・後援会、和泉市聴力障害者福祉協会・手話サークルいずみ、  
 第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山、山口県宇部市 宇部手話会、河内地区聴力障害者協会、  
 日本特殊教育学会 第56回大会、三木市健康福祉部障害福祉課、近畿地区聴覚障害教職員懇談会、  
 泉州地区聴力障害者協会・泉州手話サークル連絡会・大阪手話通訳問題研究会泉州ブロック、  
 高槻市登録手話通訳者手話通訳技術研修会、公益社団法人兵庫聴覚障害者協会、  
 茨木市障害福祉課職場内研修会、大阪手話通訳問題研究会 北摂ブロック、  
 大阪手話通訳問題研究会 河内ブロック

# 1回目から22回目までの、遊び内容と、手話ろうタイム10!の内容

	活動前	第一部 全体の活動	第一部 0~2歳と3歳以上とで分かれての活動	第二部の活動(3歳以上)	手話ろうタイム10!の内容
#1 4/7	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 ・絵本「ゆうたとさんぼする」	・なまえよび・てあそび ・絵本「こあいさつあそび」 ・絵本「999ひきのきょうだい」 ・手話つくり(パーとパー)	①宝探し(春を探そう) ②動物なりきり運動 ③ハンカチ落とし	「朝の活動編」 おはよう、トイレ、パン、 仕事、遅刻、靴を履く
#2 4/21	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 ・絵本「どうぶついろいろかくれんぼ」	・なまえよび・手話表現「5月の節句」 ・絵本「いないいないばあ」 「あつかんべー」 ・絵本「ドアがあいて…」 ・手話つくり(グーとグー)	①同じ仲間は誰かな? ②動物なりきり運動 ③ハンカチ落とし	「朝の活動編part2」 確認、準備、鍵をかける、 あたたかい、おまわりさん、 バス
#3 5/19	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 ・絵本「あかまるくんとくるまるちゃん」	・絵本「すっぽんぼーん」 ・手話表現「あじさい」「かたつむり」 「かえる」「びちゃびちゃ」 ・絵本「みんなでんしや」 ・手話つくり(パーとパー)	①めくってトライ ②自由あそび	「交通安全編」 交通(車)、車にぶつかる、 信号、渡る、ルール違反、 約束(守る)
#4 6/2	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・「そら」とおはなし ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 ・絵本「サンドイッチサンドイッチ」	・なまえよび ・絵本「たまごをこんこんこん」 ・手話表現「あじさい」「かたつむり」 「かえる」「びちゃびちゃ」・てあそび ・好き嫌いなあに	①足でじゃんけん ②宅配ゲーム ③ボール落とし(ハンカチ落とし) ④絵本「どうぞのいす」 ⑤こめっこばんばんの練習	「パパとおはなししよう!」 時間、疲れる、運ぶ、内緒、 ビデオを撮る、劇
#5 6/16	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「ゆうたはともだち」	・なまえよび ・絵本「たまごをこんこんこん」 ・手話表現遊び 「おたんじょうびばんばん」 ・好き嫌いなあに	①足でじゃんけん ②新聞紙を使った遊び ③ボール落とし(ハンカチ落とし) ④絵本 「おおきくなるっていうことは」 ⑤1年前の「こめっこ」のニュースを流す	「交通安全編part2」 もうすぐ、おとなしく、押す、 改札、先、シートベルト
#6 7/7	大雨警報が発令されたため、中止				
#7 7/21	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「ひつじばん」	・なまえよび ・絵本「どうぶついろいろかくれんぼ」 「だるまんが」 ・なぞなぞ(スリーヒント)	①新聞紙輪投げ ②ボール落とし (ハンカチ落とし) ③絵本「だめだめすいか」	「学校や保育園のことを きいてみよう」 休み(休憩)、読む、誰、 心配、給食、苦手
#8 8/4	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「おめんです」	・なまえよび ・絵本「おめんです」 ・てあそび「とんとんとんアンパンマン」 ・なぞなぞ(スリーヒント)	①どんじゃんけん(チーム戦) ②だるまんがが転んだ ③ハンカチ落とし ④絵本「こわーいはなし」	「学校や保育園のことを きいてみようpart2」 新しい、お話し(やりとり)、 嬉しい顔、へえ〜、 しかめっ面、どうして(理由)
#9 8/18	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・なまえよび ・手話表現遊び「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「ぞうくんのさんぼ」	・なまえよび ・絵本「ぞうくんのさんぼ」 ・アンパンマン絵カードを使って遊ぶ ・スタッフクイズ	①神経衰弱(果物) ②だるまんがが転んだ ③ハンカチ落とし ④絵本「ありとすいか」	「夕食をめぐって編」 必要、ハンバーグ、できた (作り終わる)、見る、 ごちそうさま、お手伝い
#10 9/1	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・なまえよび ・手話表現遊び「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「わにわにのおふる」	・なまえよび ・絵本「くだものいろいろかくれんぼ」 ・アンパンマン絵カードを使って遊ぶ ・スタッフクイズ	①じゃんけん列車 ②神経衰弱(野菜) ③だるまんががころんだ ④絵本 「おしゃれなおたまじゃくし」	「居間での会話(テレビ)編」 ドラえもん、野球、負け、 台風、メダル、録画
#11 9/15	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「なにをたべてきたの」	・なまえよび ・絵本「なにをたべてきたの」 ・アンパンマン絵カードを使って遊ぶ ・動物絵合わせを使って遊ぶ ・どうやって表す?(台所編)	①神経衰弱(乗り物) ②新聞紙島(じゃんけん) ③相手陣地にボールを投げる ④絵本「となりのためぎ」	「居間での会話(テレビ)編 part2」 DVD、(TV画面に近い)、 ニュース、しょうがない、 つかない、交換(かえる)
#12 10/6	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「にんじんとごぼうとだいこん」	・なまえよび ・いっしょにつくろう 「おばけのあかちゃん」 ・どうやって表す?(文具編)	①神経衰弱(台所にあるもの) ②新聞紙島(じゃんけん) ③ハンカチ落とし ④絵本 「おばけの地下室たんけん」	「お風呂入ろう!」編 いっぱい汗をかく、お湯を張る、つか る、水を切る、 栓を抜く、栓をする
#13 10/20	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「おめんです2」	・なまえよび ・てあそび「とんとんとん ハロウィンバージョン」 ・いっしょにつくろう 「おばけのあかちゃん」 ・職業なぞなぞ	①神経衰弱(秋の風物詩) ②新聞紙島(じゃんけん) ③おばけをつくろう	「お風呂入ろう編part2」 シャワ、しっかりと、裸、バジヤマ、 ドライヤー、冷たい
#14 11/3	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「みんなうんち」	・なまえよび ・保護者交流 ・電気製品なぞなぞ	①新聞紙島(じゃんけん) ②神経衰弱(秋の風物詩) ③だるまんがが転んだ ④トラックレース(ハイハイ) ⑤ボール落とし(ハンカチ落とし) ⑥絵本「はなすもんかー!」	「寝る前の会話編」 持っていく、歯を磨く、アイス、 お布団、遅い、自分
#15 11/17	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「おべんとうバス」	・なまえよび ・紙芝居「かくれんぼ」 ・紙芝居「のーびたのびた」 ・保護者交流 ・建物なぞなぞ	①手押し車レース ②ハンカチ落とし ③神経衰弱(電気製品) ④だるまんがが転んだ ⑤絵本「おおきなかぶ」	「風邪に気をつけよう編」 (風が)ひゅうひゅう、マスク、 ばい菌、鼻水、薬をのむ、 元気(健康)
#16 12/1	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「もりのおふる」	・紙芝居「かくれんぼ」 ・紙芝居「のーびたのびた」 ・保護者交流 ・連想遊び	①神経衰弱(建物) ②じゃんけん開脚 ③ばななおに ④だるまんががころんだ ⑤絵本 「ふしぎなキャンディーやさん」	「クリスマス編」 クリスマスツリー、サンタ、 手紙、ケーキ、くつした、 プレゼント
#17 12/15	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 「とんとんとんクリスマス しゃんしゃんバージョン」 ・絵本「まどから★おくりもの」	・なまえよび ・絵本「まどから★おくりもの」 ・手話表現遊び 「とんとんとんクリスマス」 ・スタッフクイズ	①神経衰弱(建物) ②じゃんけん開脚 ③だるまんがが転んだ ④ボール落とし(ギャロップ移動) ⑤絵本 「サンタのいちねん トナカイのいちねん」	「お正月 初詣編」 神社、清める、お賽銭、丁寧、 おみくじ、お守り



	活動前	第一部 全体の活動	第一部 0～2歳と3歳以上とで分かれての活動	第二部の活動(3歳以上)	手話ろうタイム10!の内容
#18 1/19	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ ・こめっこキャラクター「そら」と掛け合い ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 ・絵本「おやおや、おやさい」	・なまえよび ・絵本「たまごをこんこんこん」 「のりものいろいろかくれんぼ」 ・保護者交流 ・そらクイズ	①神経衰弱(赤いもの) ②進化じゃんけん ③だるまさんがころんだ ④絵本「もちつきくん」 ⑤手話表現遊び 「おにのパンツばんばん」	「今年の抱負編」 目標、やせる、趣味、何でも、 一級、覚える
#19 2/2	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」「おにばんばん」 ・絵本「じゃんけんばん」	・なまえよび ・手話表現遊び「おにのうた」 ・絵本よみ「やさいさん」 ・ごりクイズ	①神経衰弱(黄色いもの) ②線おに ③新聞紙キャッチ ④絵本よみ「うがいライオン」 ⑤鬼退治(新聞紙ボールで豆まき)	「豆まき編」 豆まき、病気、退治(追い返す)、福、 なんだ、同じ
#20 2/16	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「おっぱい」	・なまえよび ・絵本よみ「きんぎょがにげた」 ・職業なぞなぞpart2	①カルタ(スポーツ) ②だるまさんがころんだ ③じゃんけん列車 ④絵本「かばくん」	「ひなまつり編」 もうすぐ、お雛様・お内裏様 おじいちゃん・おばあちゃん、匂い、 ひなあられ、(写真を)撮る
#21 3/2	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・手話表現遊び 「おなまえよびばんばん」「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「びつけやまのおならくらべ」	・なまえよび ・手話表現遊び ・絵本よみ「びつけやまのおならくらべ」など ・日常生活クイズ	①神経衰弱(スポーツ) ②じゃんけんカードを増やせ! ③ボール落とし ④絵本「ももたろう」	「進級・卒業編」 春休み、通う、上がる(進級する)、 卒業、さみしい、たのしみ
#22 3/16	設定遊び ・どんじゃんけん ・お絵かき・神経衰弱	・あいさつ・なまえよび ・手話表現遊び「こめっこばんばん」 「おたんじょうびばんばん」 ・絵本「バルボンさんのおでかけ」	・なまえよび ・紙芝居「ごろん」 ・交流 ・日常生活クイズpart2	①神経衰弱(スポーツ) ②手押し相撲 ③だるまさんがころんだ ④5歳児にメダルを渡す ⑤絵本「いつもいっしょに」 ⑥こめっこ終了式 手話表現遊び 「おくるばんばん～スタッフより～」 「さくらばんばん」	「春の訪れ編」 気温が上がる、大阪城、梅、桜、 もうすぐ(もう少ししたら)、満開

「こめっこ利用に関するアンケートのお願い」

対象者:「こめっこ」に継続的に参加している家族

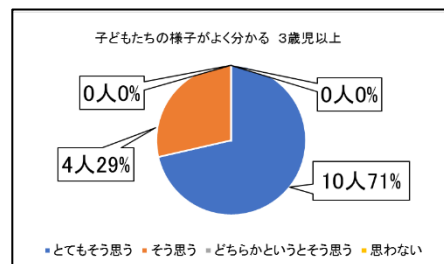
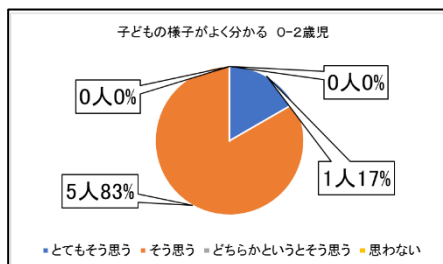
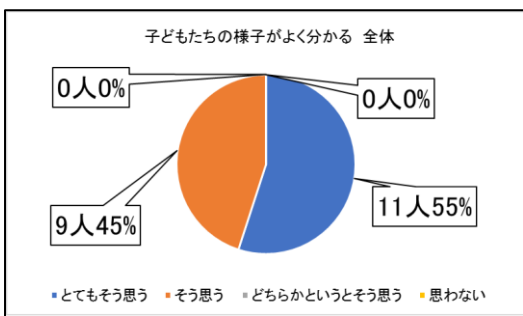
配布方法:①2018年3月2日と3月16日に参加した保護者へは手渡し。

②上記日程に参加できなかった保護者へは郵送。

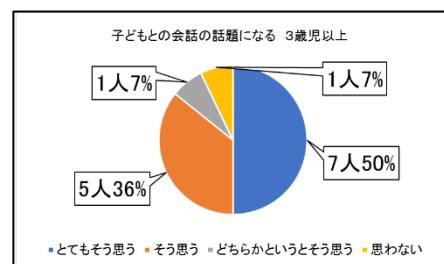
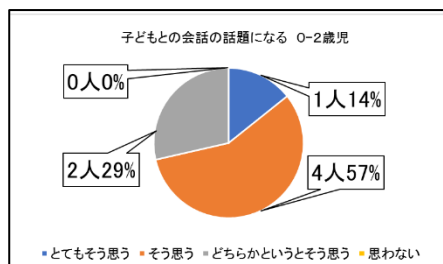
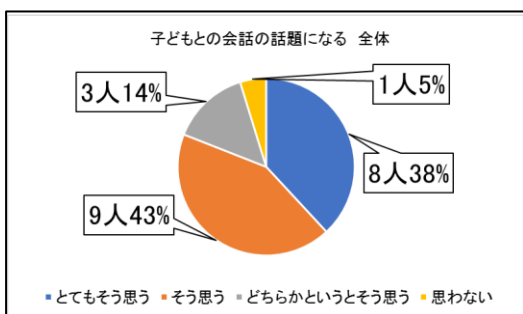
回収日:2018年3月3日～2018年4月9日 【回収率63%(26/41家族)】

1. スライド(3歳以上の活動、スタッフ紹介など)について

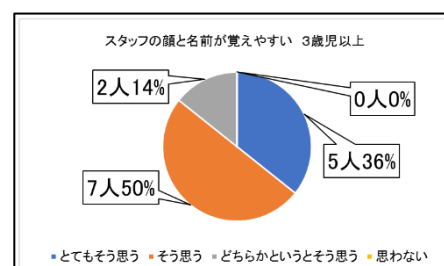
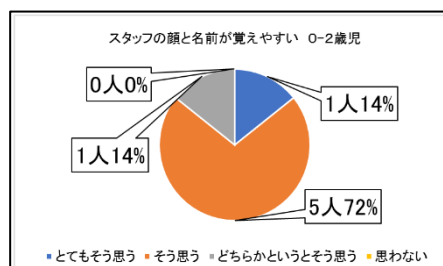
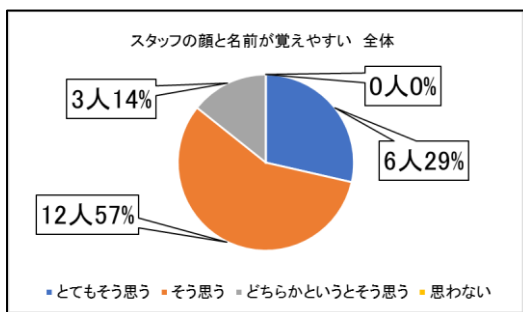
○子どもたちの様子がよく分かる



○子どもとの会話の話題になる



○スタッフの顔と名前が覚えやすい



【自由記述】

0～2歳児の保護者

・土、日の会にあまり参加できていません。

3歳児以上の保護者

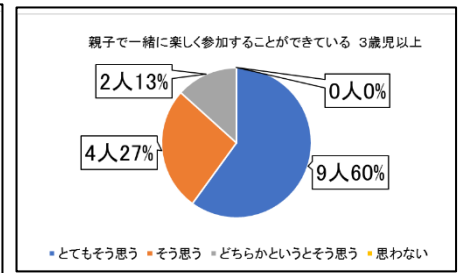
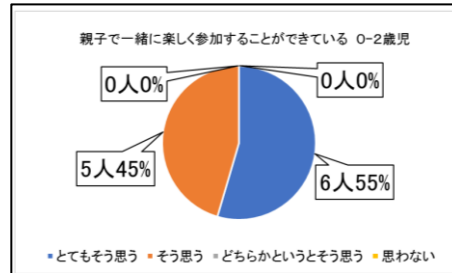
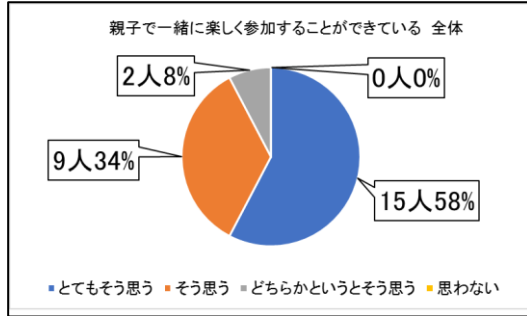
・いつも子供にわかりやすい工夫をしてもらっている手話歌もおぼえやすくてとても良い

## 2018 年度末アンケートのまとめ 報告

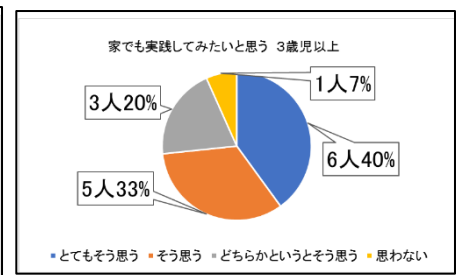
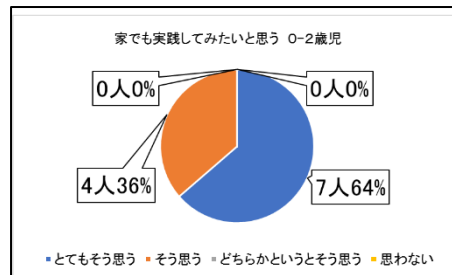
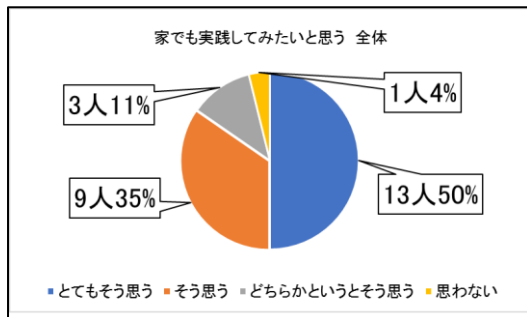
- ・名前呼びなど、参加してとても楽しそうにしています。スタッフの皆さんのお名前もだいたい覚えていると思います。
- ・3歳以上の活動のスライドを見たことがないので記入なし。
- ・スタッフの顔と名前がある方は解るのですが、どういう流れでスタッフに参加されているなどきっかけなどもう少し聞きたいところでした。

### 2. こどもの部(絵本、手遊び、クイズ、ゲームなど)について

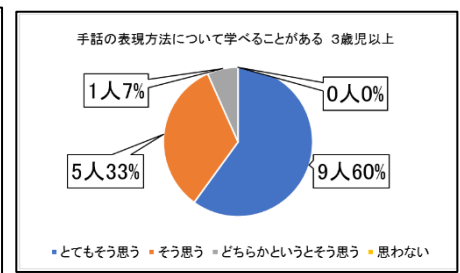
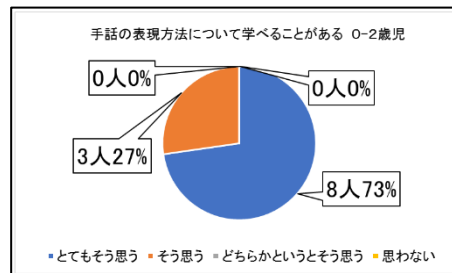
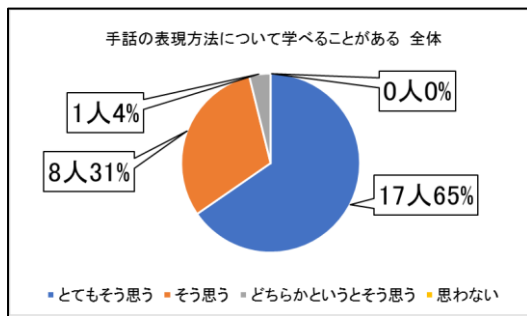
#### ○親子で一緒に楽しく参加することができる



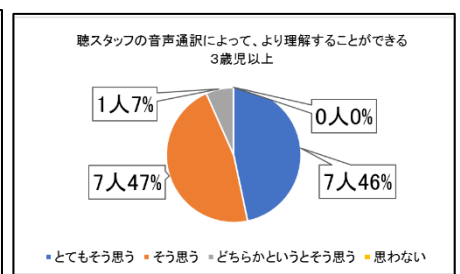
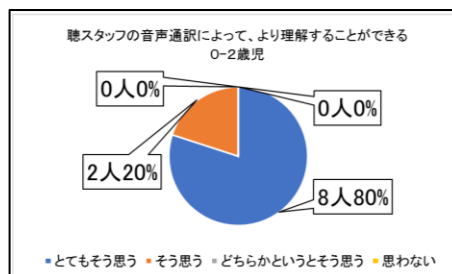
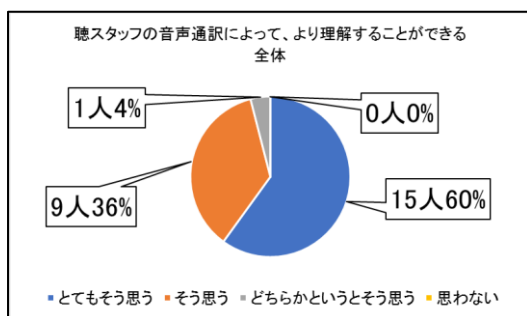
#### ○家でも実践してみたいと思う



#### ○手話の表現方法について学べることもある



#### ○聴スタッフの音声通訳によって、より理解することができる



【自由記述】

0～2歳児の保護者

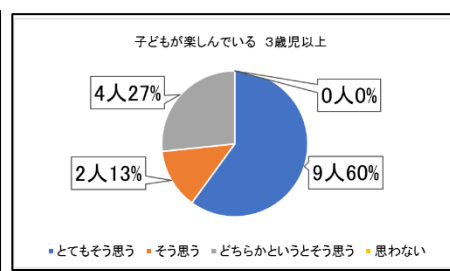
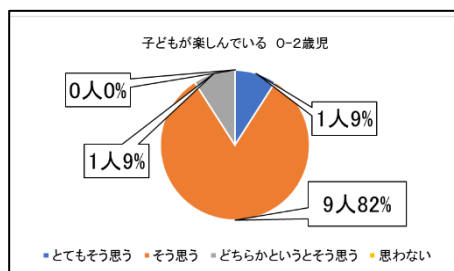
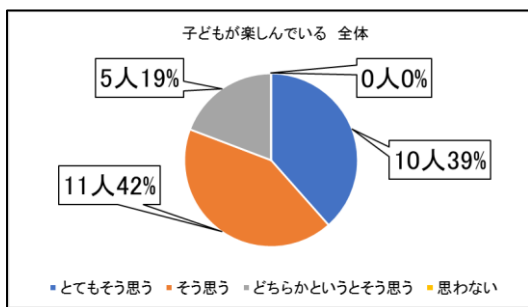
- ・絵本よみは手話表現をたくさん学べてありがたいです。でも、1 回では見逃したり覚えるのが難しいので、動画等で、くり返し見れると嬉しいです。
- ・「もあこめ」気になっています！手話を始めたばかりで、まだまだ勉強ですが、子供を見ていただいてしっかり学べる金曜日の「こめっこ」を大変ありがたく思っています。
- ・最近家では少しだけじっとして本を見る様になってきた様に思います。集団での本読みの状態を確認していきたいのと、手話での読みきかせ参考にします。
- ・もういいおっさんおばさんなので、子供の時の遊びが思い出せないことや、ひらめきが少なく、脳細胞の減少が見られるため、クイズやゲームも参考になります。

3歳児以上の保護者

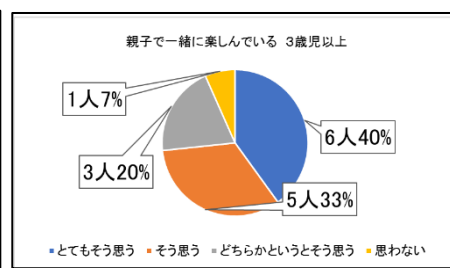
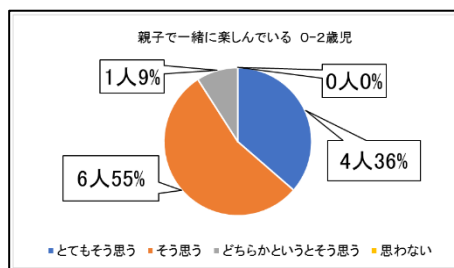
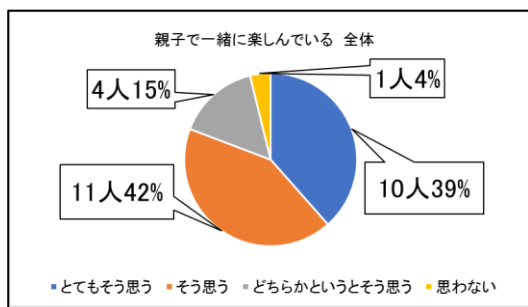
- ・手話だけだと分かりにくい部分もあるが口形や音声もつけてもらえるのでわかりやすい。ゲーム、クイズ、絵本は子供が興味を持ちやすいように絵やカードで工夫してもらっている。
- ・3 歳以上の子供たちと一緒にいると小学生以上と混ざるより、小学生、3～5 才児とわけてくれたら、どうかと思っています。
- ・絵本を読んでもらっているときは集中して聞いていてとても楽しそうにしていると思います。時々、子供たち同士で盛りあがってしまってクイズやゲームに集中できていない時があるので、そういう時は声や音の方が皆の注意をひくことができるのかな、と思う時があります。上位概念が学べて内容はいつも工夫して頂いて嬉しく思っています。
- ・こどもにする手話は、手を大きくゆっくり動かしてくれるので、親も子もわかりやすいです。

3. 手話表現遊び(手話ぱんぱん)について(おなまえよびぱんぱん、こめっこぱんぱん、おたんじょうびぱんぱんなど)

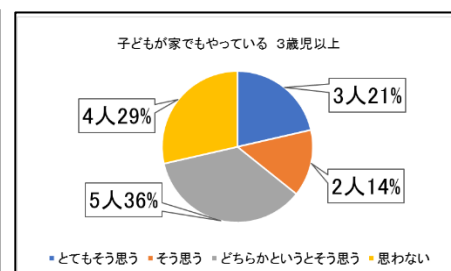
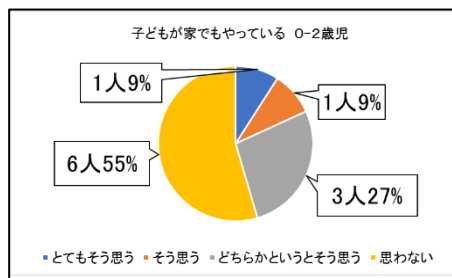
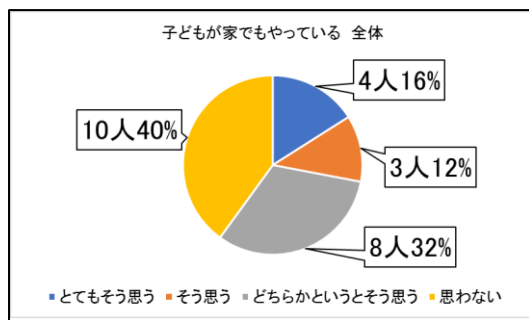
○子どもが楽しんでいる



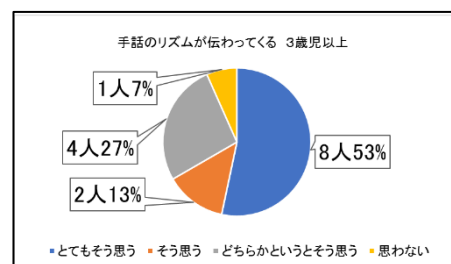
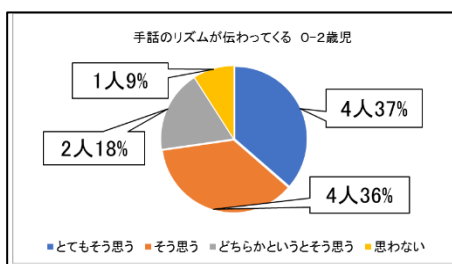
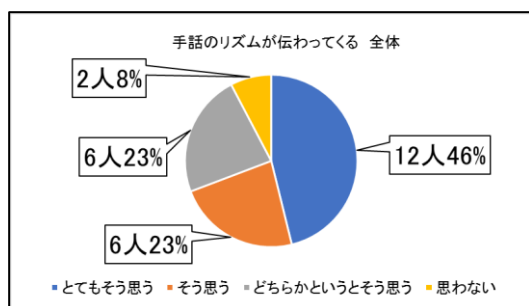
○親子で一緒に楽しんでいる



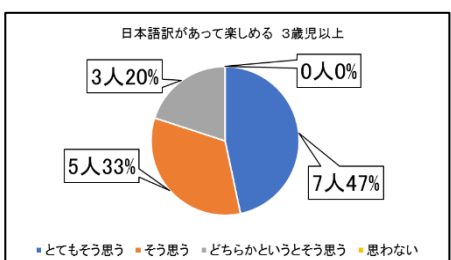
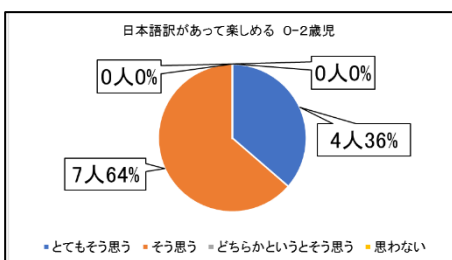
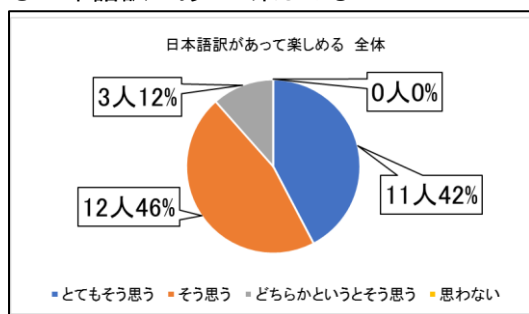
○子どもが家でもやっている



○手話のリズムが伝わってくる



○日本語訳があって楽しめる



【自由記述】

0～2歳児の保護者

- ・こめっこぱんぱん、2才児でまだ返事ができませんが、覚えていってほしいと思っています。
- ・車の中(私と子供は共に後部座席)でヒマな時などこめっこぱんぱんを一緒にやっている。車の中では遊びネタが限られていたのでとても嬉しいです
- ・まだ子供1人でできません。やってるお兄ちゃんお姉ちゃんがまぶしいです。できる日をとても楽しみにしています。

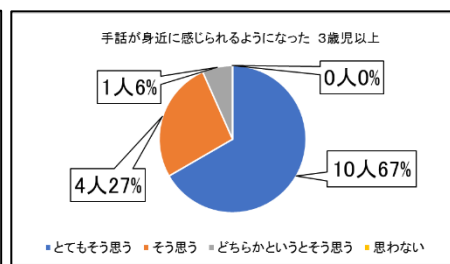
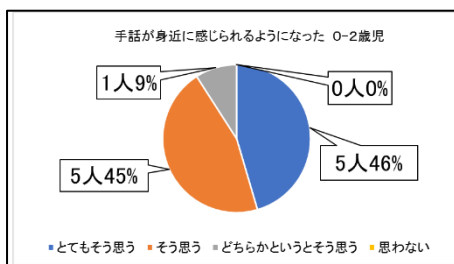
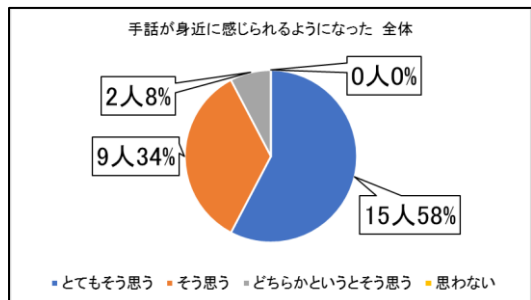
3歳児以上の保護者

- ・残念ながら家ではやっていませんが...手拍子で始まり、リズムを感じながら楽しんでいるように思います。音声も聞きながら音のリズムも感じていると思います。

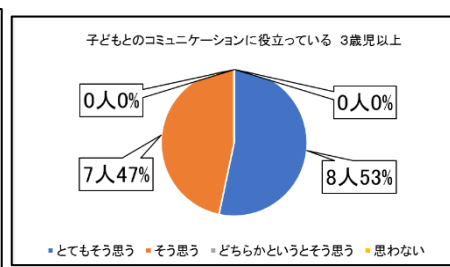
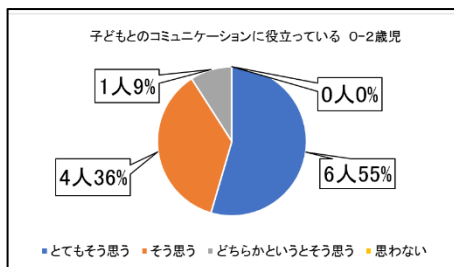
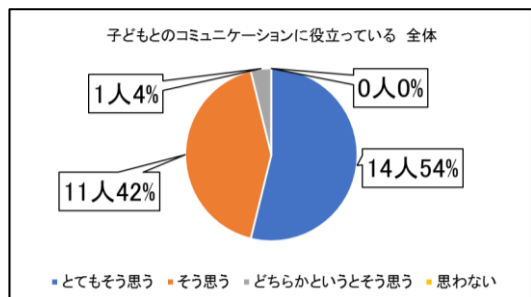
# 2018 年度末アンケートのまとめ 報告

## 4. 手話ろうタイム10！（保護者手話学習会）について

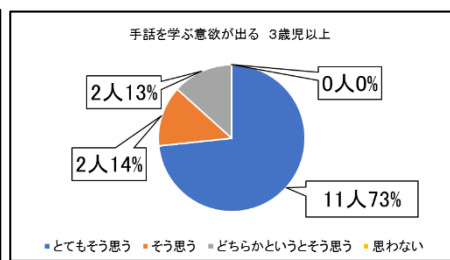
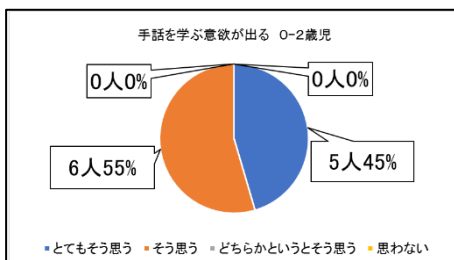
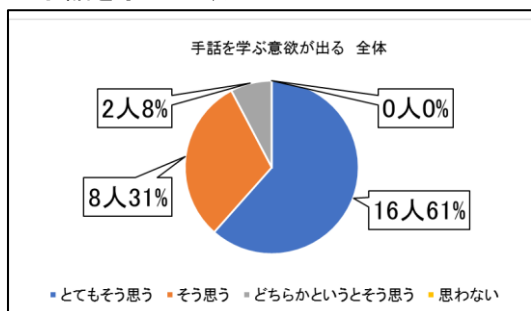
### ○手話が身近に感じられるようになった



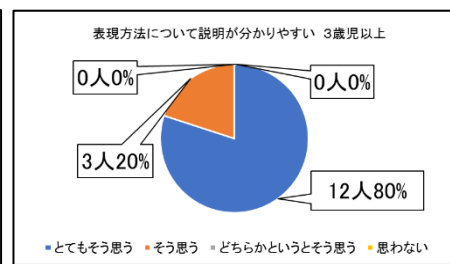
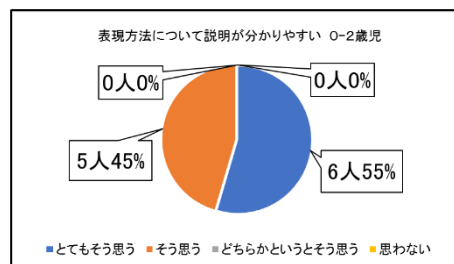
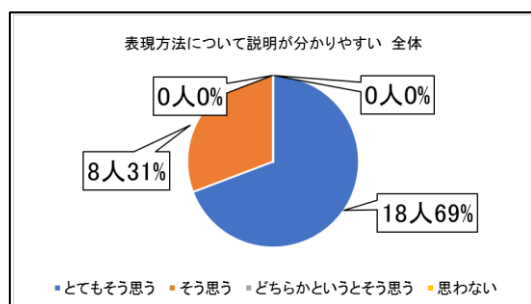
### ○子どもとのコミュニケーションに役立っている



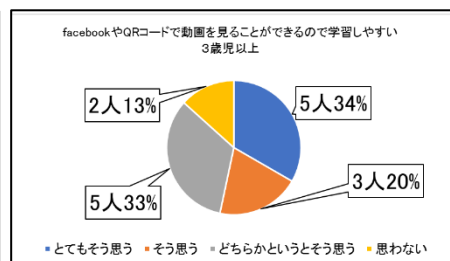
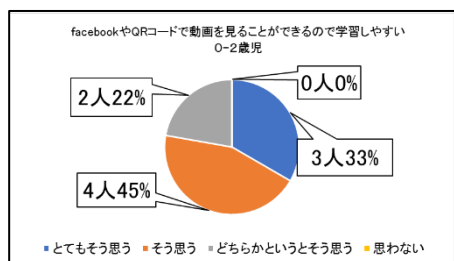
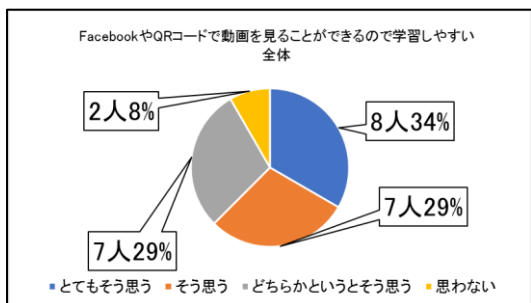
### ○手話を学ぶ意欲が出る



### ○表現方法について説明が分かりやすい



### ○facebook や QR コードで動画を見ることができるので学習しやすい



【自由記述】

0～2歳児の保護者

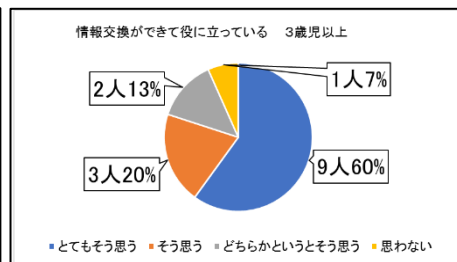
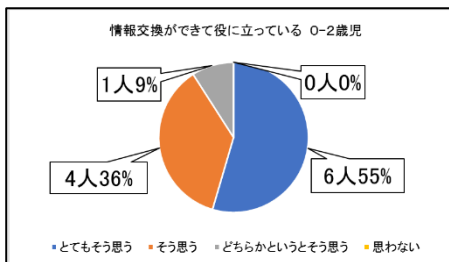
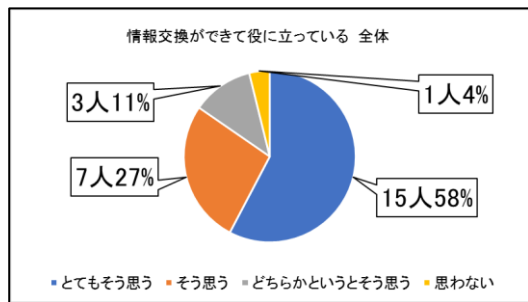
- ・youtube、見えています！！
- ・手崎先生が手の動きの理屈を言ってくださった手話は確かにずっと頭の中に入ってきて覚えられます！！
- ・聴覚支援学校では教われない子どもとの日常生活に必要な手話が学べるのがうれしい。(手話講座では主に大人向けのものばかり)家でその手話を使ってやり取りを楽しめたり、何より今思っていることを子どもが表現できるので続けてほしい。中々、市の手話講座などに参加できない方も手話ろうタイムで覚えた手話なら大人も入りやすく子どもとも共有しやすいです。
- ・本当に勉強になります。やらないと！と意識づけにもなります。手話がなければどうなっていたのかと考えると恐ろしくなります。

3歳児以上の保護者

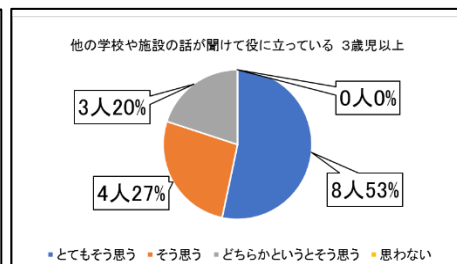
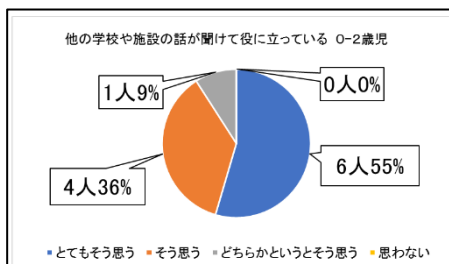
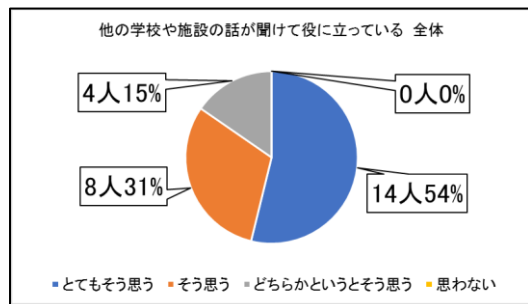
- ・手話の意味と、その手話を使った例文もあり、身近な内容でわかりやすい
- ・子供が年長なので、内容が少し簡単に感じることも多かったです。手話を教えて頂くだけではなく、例えば、お題:明日の予定は??を1人ずつ答えるとお母さんの人数分の答え方の手話表現を覚えられるかな～?と思いました。(分からない時は、教えて頂きながら...)

5. 保護者交流について

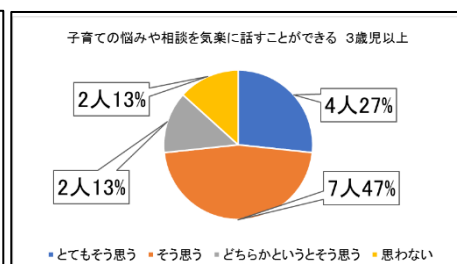
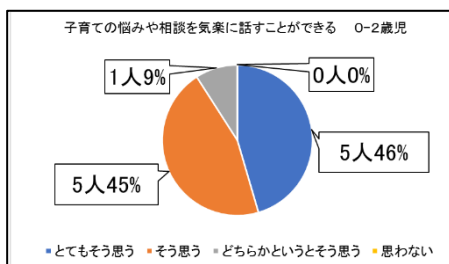
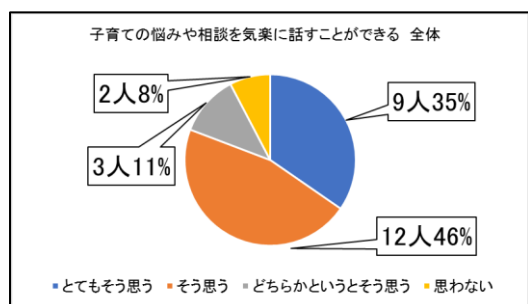
○情報交換ができて役に立っている



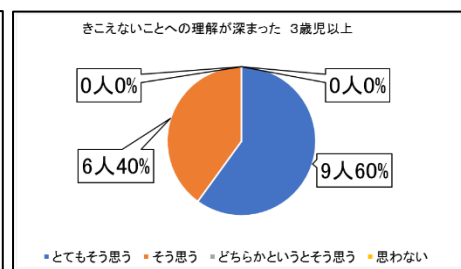
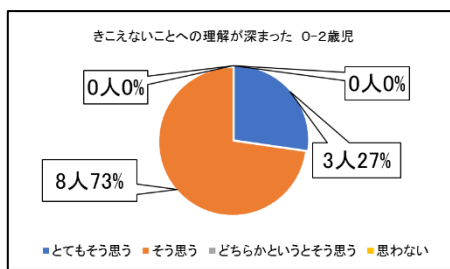
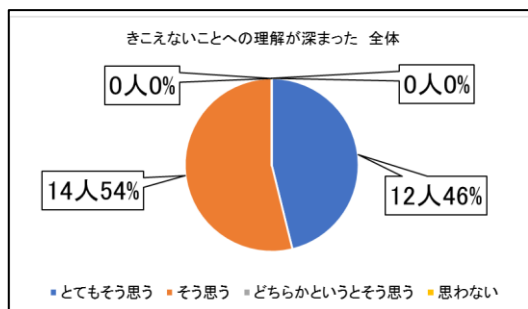
○他の学校や施設の話が聞けて役に立っている



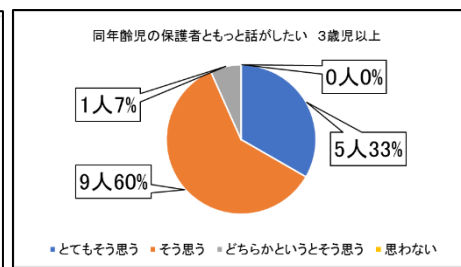
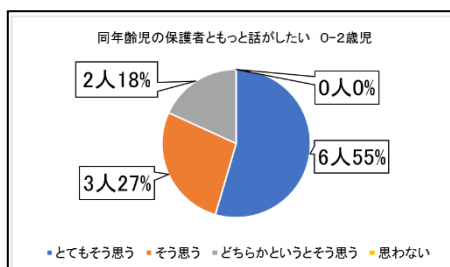
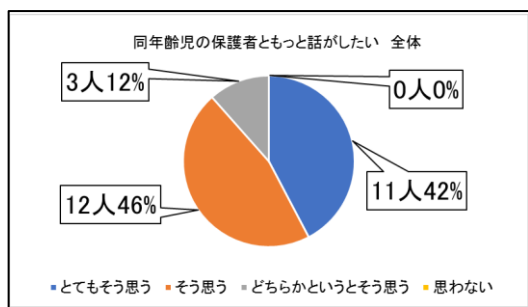
○子育ての悩みや相談を気楽に話することができる



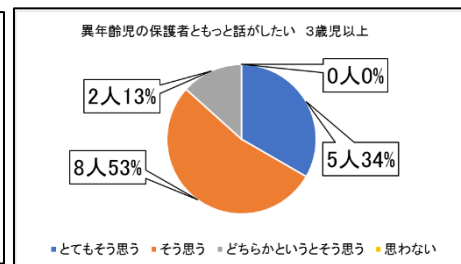
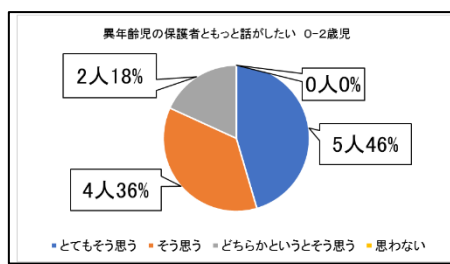
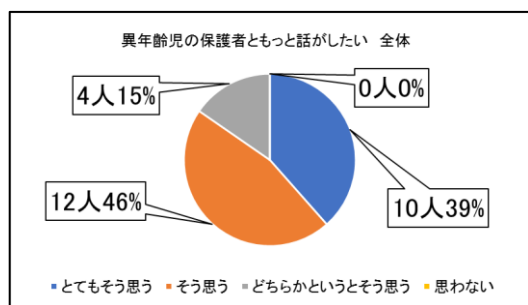
○きこえないことへの理解が深まった



○同年齢児の保護者ともっと話がしたい



○異年齢児の保護者ともっと話がしたい



【自由記述】

0～2歳児の保護者

- ・先輩ママの話を聞きたい人が多いと思うので、我が子より小さい子のお母さんに色々聞かれ、答えるシーンも多い。それは全く構わないし、お役に立てるなら対応したいのですが、同時に私が先輩に聞く機会が失われる様に感じて、残念に思ってしまう。そう考えると、我が子が年長になった頃には「相談できるちょっと先輩ママ」と交流できないと思うとさみしいです。
- ・各学校の情報は特に早期教育の時期の子どもにとっては大事な事なので保護者交流で聞いたり、こめっこスタッフからも聞きたいです。
- ・自分で、いらん事もしゃべってしまっって反省することも多々ありますが、本当に励みや、参考になります。私もまだ2年弱の経験ですが、新米パパママに質問されれば喜んでお答えするつもりです。

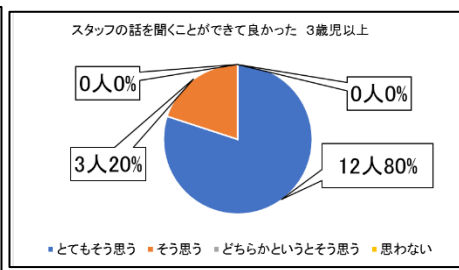
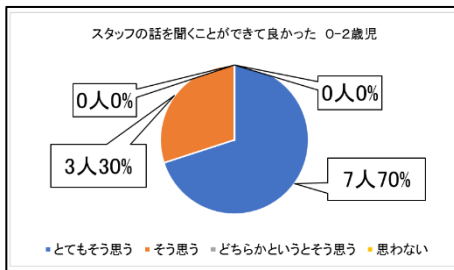
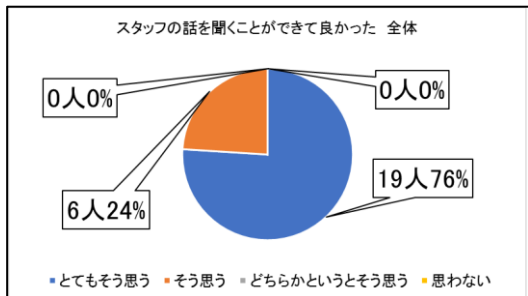
3歳児以上の保護者

- ・人見知りなので、気楽に話せないです。
- ・色々な取り組みを皆さん頑張っているって、お話を聞くと、お互い「へえ～」という新しい発見もできたり、励みにもなり、とても良い時間だと思います。

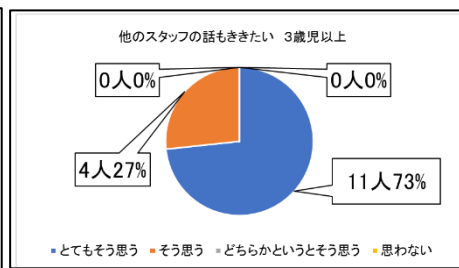
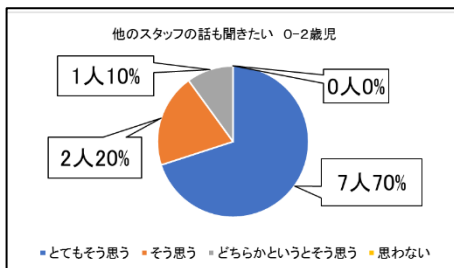
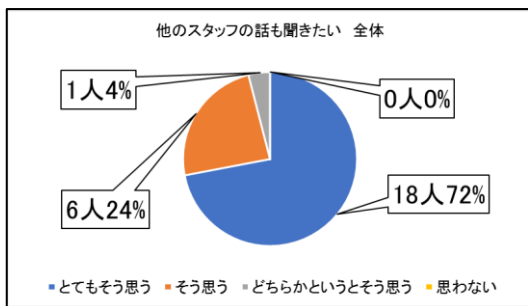


6. ろうスタッフのミニレクチャー(20~30 分間の生い立ちや体験談)について

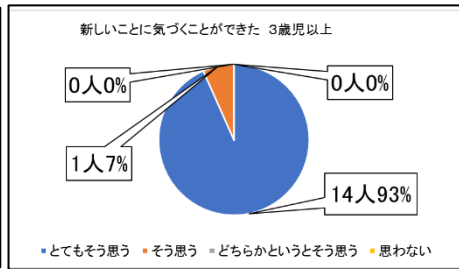
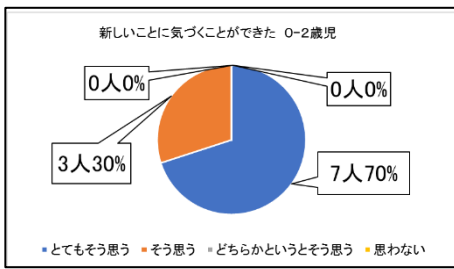
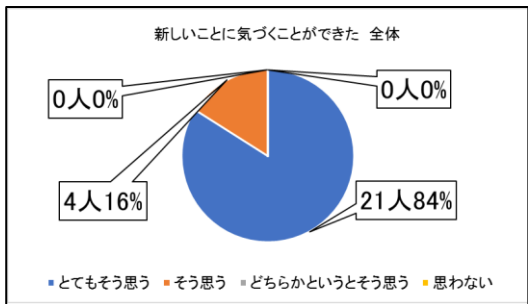
○スタッフの話聞くことができて良かった



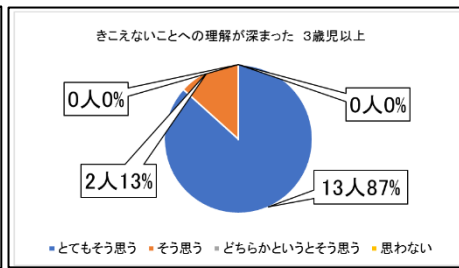
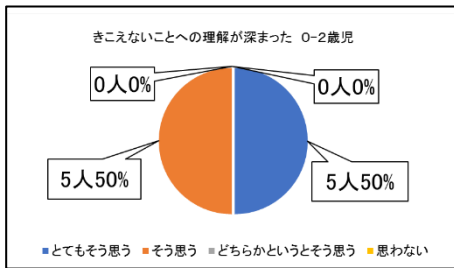
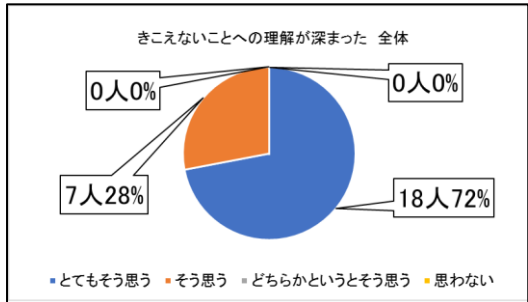
○他のスタッフの話も聞きたい



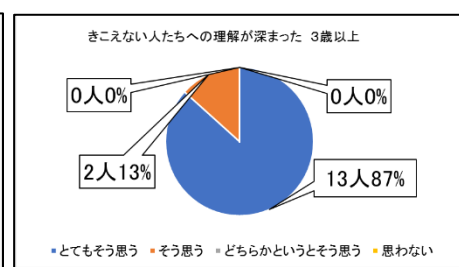
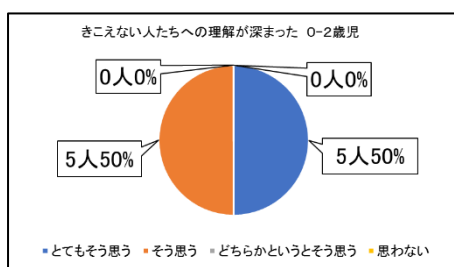
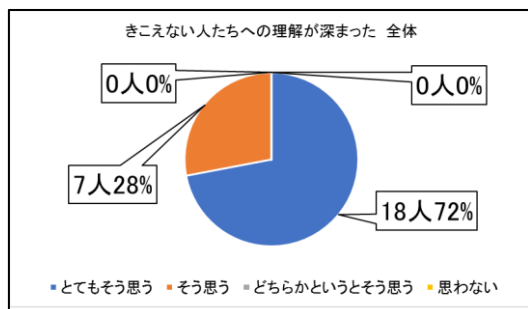
○新しいことに気づくことができた



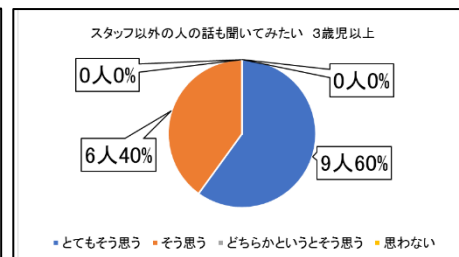
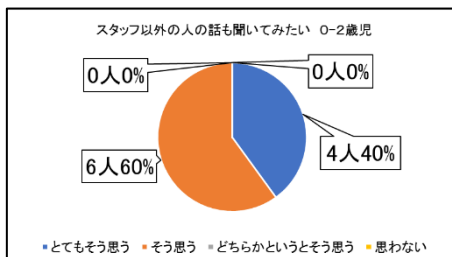
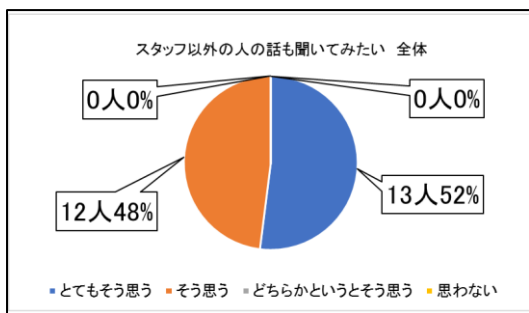
○きこえない事への理解が深まった



○きこえない人たちへの理解が深まった



○スタッフ以外の人の話も聞いてみたい



【自由記述】

0～2歳児の保護者

- ・どれくらいその子もしくは人が聞こえているのか聞いても失礼にはなりませんか？(疑問)
- ・聞こえないママ、パパの話も聞いてみたいです。改めてもう一度ろうスタッフの方のミニレクチャーを聞きたい。やっぱりどうしても聞き漏らしていることがあると思うので・・・。
- ・生い立ちや体験は人それぞれ多種多様で役に立つことが多いので続けてほしいです。いつ自分や自分の子どもが分岐点に立つか分からないとそうやって聞けたことはその時の1つの判断材料になると思います。
- ・アンコールレクチャーを聞きに行っていたものの部屋で待っていたらとなりの部屋で終わっていたという経験がありました。こちらのミスですが、表示やアナウンスをもう少しして頂けると有難いです。(これから知らない方も多くなると思うので。)
- ・本当に参考になる励みになるとしか言い様がありません。ろうスタッフのお父さん・お母さんのお話もお聞きできればうれしいです。スタッフの皆さんがうらやましい！みなさん立派に育ってはって。

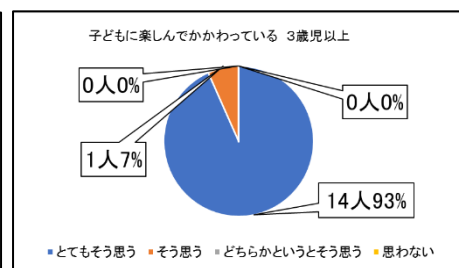
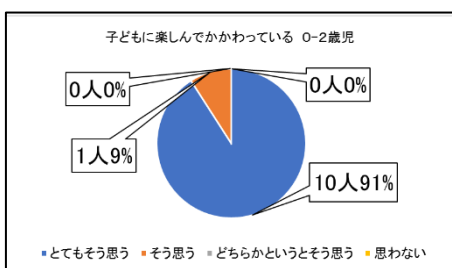
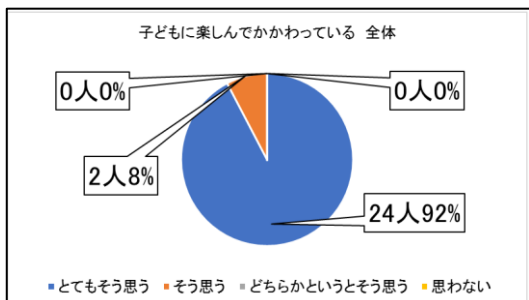
3歳児以上の保護者

- ・これからいろいろな経験の話をしてもらいたい
- ・育った環境や親の考え方、学校などによって、それぞれの障がいとの向きあい方や日本語の習得の方法なども違い、いつも大変勉強になっています。きこえないという事がどんな世界なのか、理解するにあたり、色々な方のお話を聞けると嬉しいです。
- ・色々な環境の中で過ごされた体験を聞かせて頂き、親としての心構えやたくさんの人間関係の中での苦労などとても勉強になりました。また、家族に対しての想いを聞かせて頂き、息子への想いが変わりました。耳が聴こえない中で話についていけない、中に入れぬ孤独を感じているなど、とても心が痛くもつと息子と向きあっていく事、今まで以上に手話が大切で必要だと感じました。

7. スタッフについて

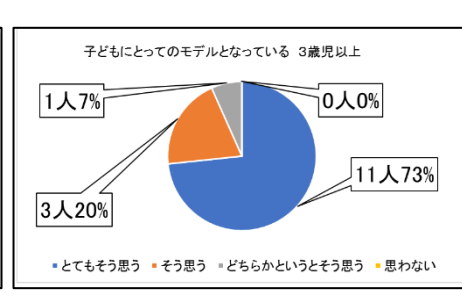
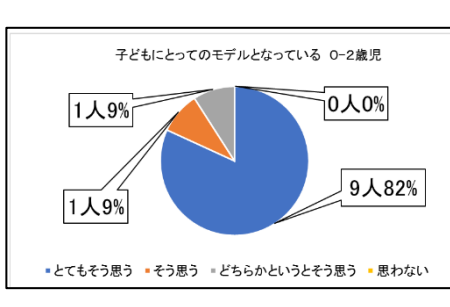
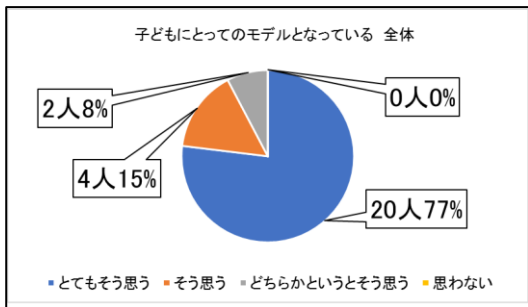
・ろうスタッフについて

○子どもに楽しんでかかわっている

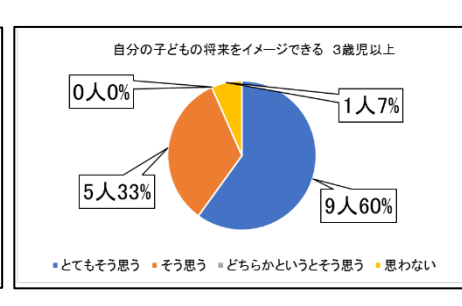
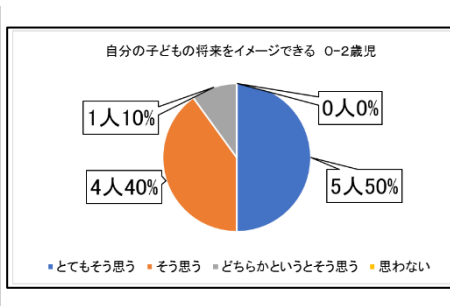
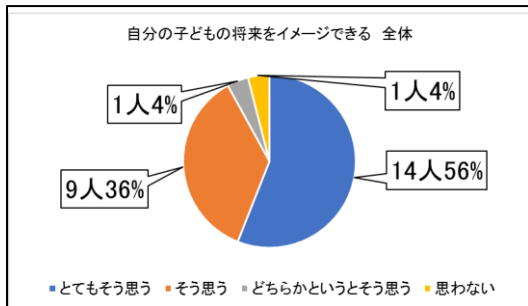


# 2018年度末アンケートのまとめ 報告

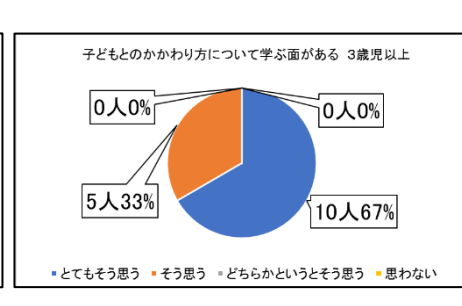
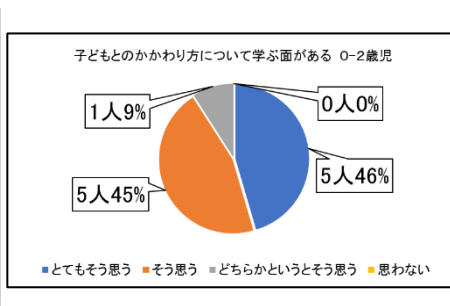
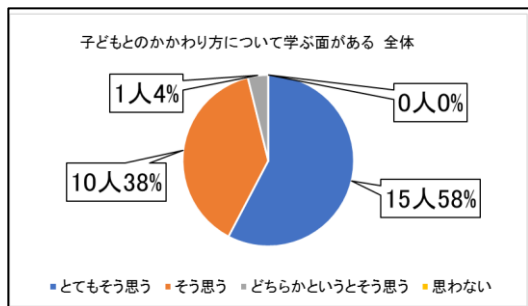
## ○子どもにとってのモデルとなっている



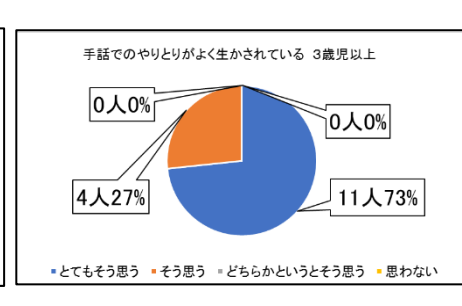
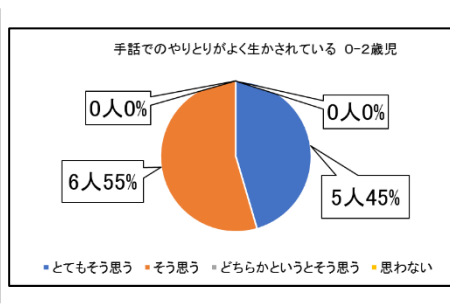
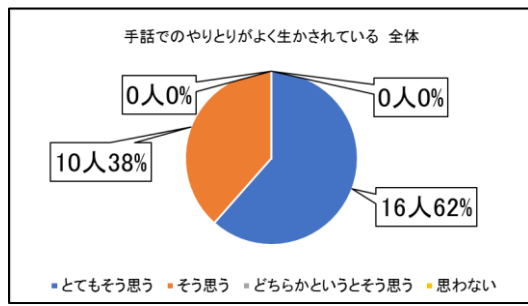
## ○自分の子どもの将来をイメージできる



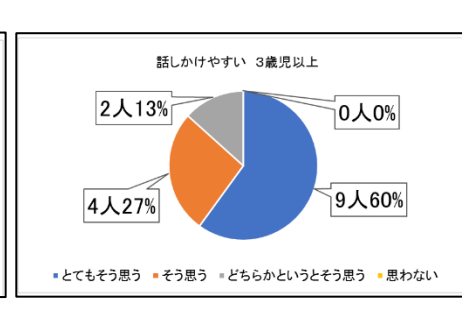
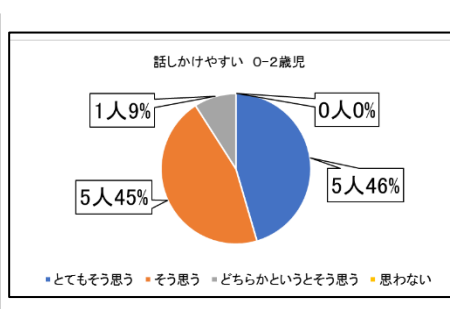
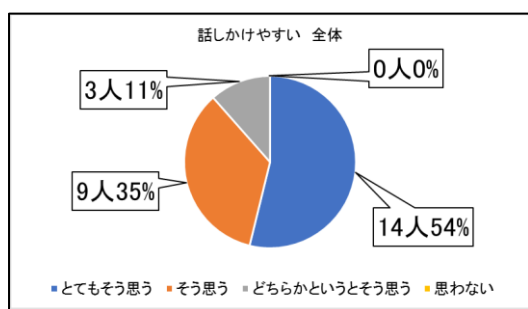
## ○子どもとのかかわり方について学ぶ面がある



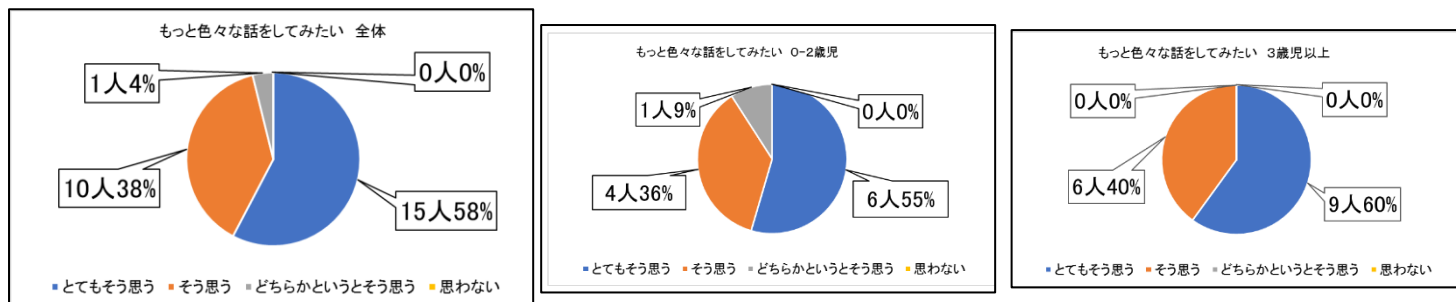
## ○手話でのやりとりがよく生かされている



## ○話しかけやすい



○もっと色々な話をしてみたい



【自由記述】

0～2歳児の保護者

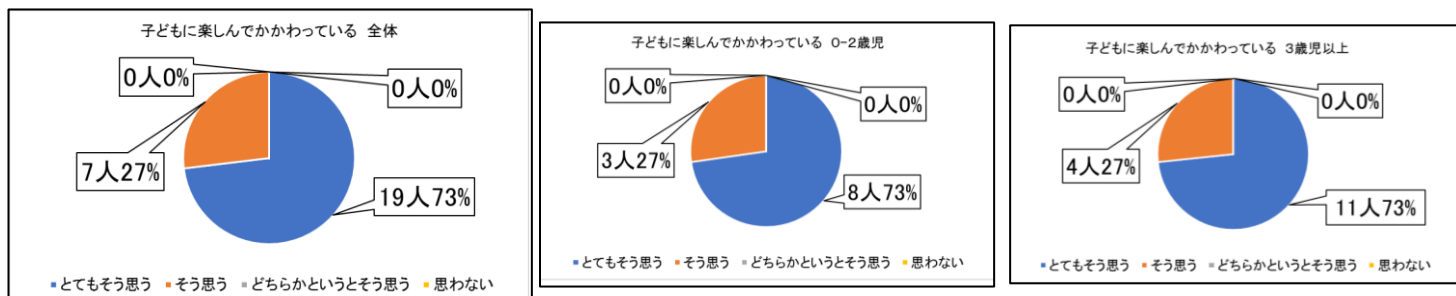
- ・気さくで話しかけやすい方たちばかりですが、やはり言葉の壁を感じるシーンはある様に思います。その点では、通訳さんにいつも助けてもらっています。
- ・おかげさまで理解できる手話、自分ができる手話が増えてきています！ありがとうございます！
- ・みなさん親切で親しみやすく安心して子どもと遊んでもらえます。
- ・みなさん若いのに貴重な時間を子供達に費やしていただいて感謝の気持ちしかありません。どうすれば、私たちが恩返しできるのでしょうか？ろうの先輩として、子供達や親に対して、今後のために必要とあるならば、ほめるだけでなく、しかりつけたりすることもどんどんしてもらいたいです。

3歳児以上の保護者

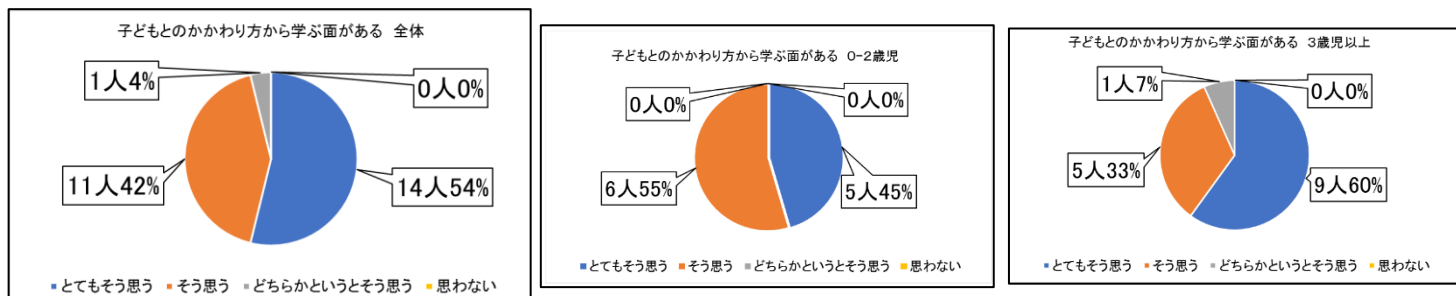
- ・いつも明るく笑顔で遊んでいただいて、子供も楽しんでます。手話を見て読み取る力もたくさんついていると思います。

・聴スタッフについて

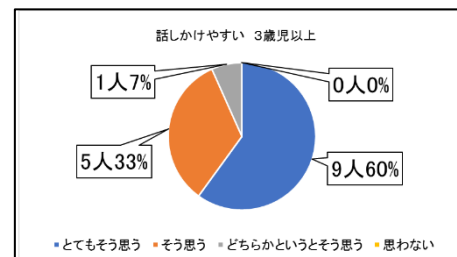
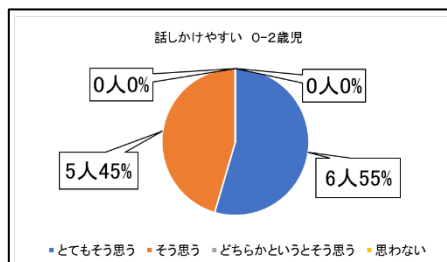
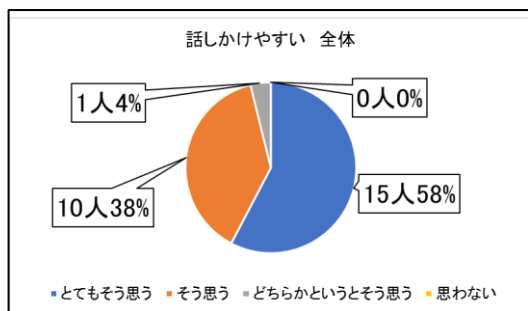
○子どもに楽しんでかかっている



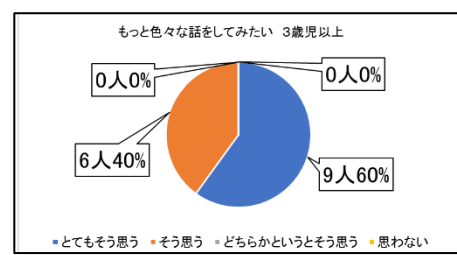
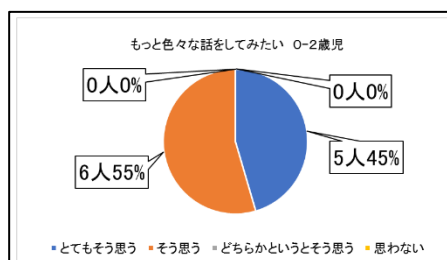
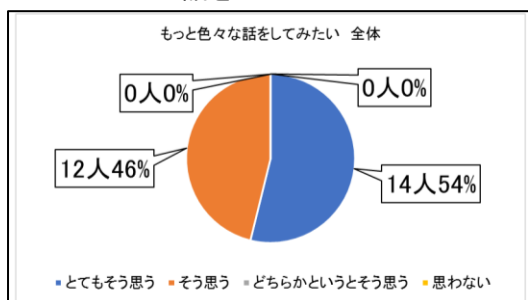
○子どもとのかかわり方から学ぶ面がある



○話しかけやすい



○もっと色々な話をしてみたい



【自由記述】

0～2歳児の保護者

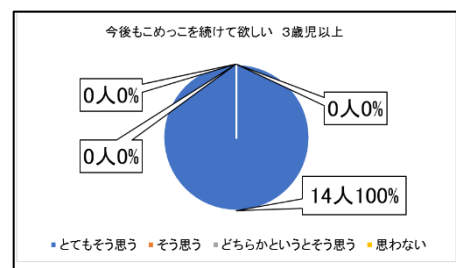
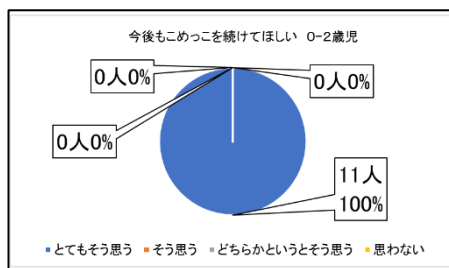
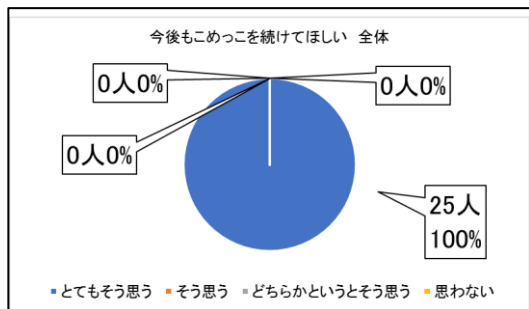
- ・聴スタッフの方も、その背景を知りたいです(ex.安藤さんは難聴のお子さんを育てられた大先輩ママ等)。その方の経験、知識を知れば、聞いてみたい事、相談してみたい事が増える様に思います。
- ・生の手話のスピードが分かって驚かされています。あれぐらいのスピード(指文字など)理解できるようになりたい。目標でもあります。
- ・スタッフの方全員(ろうスタッフ聴スタッフ共に)が保護者の方の気持ちに寄り添って頂いていると感じます。初めてで心細い方もいるのでそういった方には温かい接し方でありがたいです。
- ・左記記入と同じです。お休みの日にわざわざ時間を費やしていただいて感謝の気持ちしかありません。なぜスタッフになられたのかわかりませんが、難聴者のことをよく理解されておられる方として、子供や親に対してどんどん遠慮することなく口出して頂きたいと思います。

3歳児以上の保護者

- ・いつも楽しく遊んでいただいております。子供もきこえるスタッフの方ときこえないスタッフの方ととくに区別することなく楽しく関わっていると思います。きこえるスタッフの皆さんは通訳の方も含めて保護者にも声を掛けてくださっていつも嬉しいです。

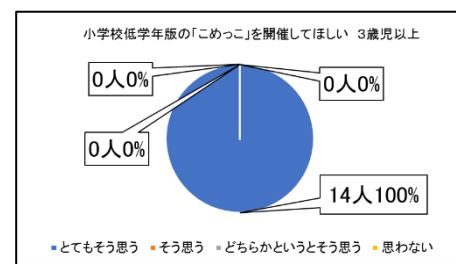
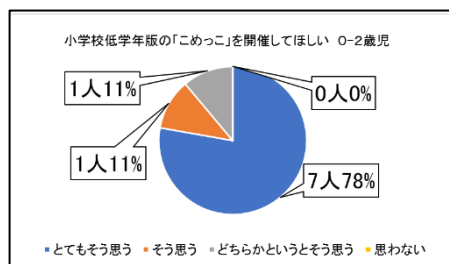
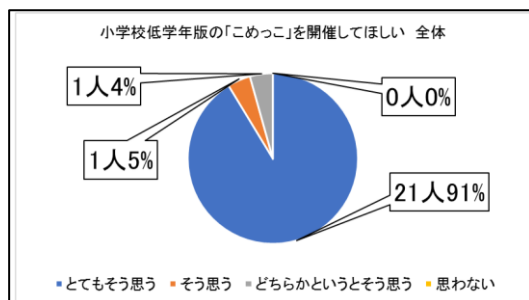
## 8. 活動の継続について

### 今後もこめっこを続けてほしい



## 9. 小学生低学年版の「こめっこ」について

### 小学校低学年版の「こめっこ」を開催してほしい



## その他【自由記述】

### 0～2歳児の保護者

- ・以前も書かせてもらったかも知れませんが、課外活動があると良いなと思います。親子遠足の様なイメージを勝手にしています。難しいかもしれませんが希望として…。難聴児の小学生の状況を聞ける場が欲しい。難聴学級の先生のお話し等。「9歳の壁」を意識するママも多いのでは？と思うので、「抽象的思考力」や「行間を読む力」を身につけていく為に幼児期から取り組める事を知りたい。
- ・低学年のこめっこ気になりますが、行ける時間があるか心配です。合えばぜひ参加したいと思います。
- ・現在、第2子妊娠中のため最近ではこめっこに参加できていませんが、子どもには手話を教えていきたいと思っていますのでこれからも続けていただきたいと思っています！！よろしくお願いします。
- ・昨年も記入したような気がしますが、スタッフの皆様に対しましては、感謝の気持ちしかございません。目先の利益や自分の票だけしか頭にない市議員等にどないかしてわからずできないか、良く考えます。また、スタッフの負担を少しでも減らすために、準備や後かたづけなど遠慮なく言っていただければと思います。MORE こめっこもできるということで、親子共々、まだまだ手話と係わる事ができるとうれしく思います。今後とも何卒よろしくお願いいたすとともに、なんとか頑張りたいと思っています。いつも本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。
- ・仕事などもあり、何度か参加させて頂いただけなのですが、子供もとても楽しんでいたし、私も手話を学べるきっかけができて、親子で楽しめています。予定が合えば又、参加させてもらいます。スタッフの明るさがとてもいいないつも思います。

### 3歳児以上の保護者

- ・息子がこめっこに行くのすごく楽しみにしてるし、小学校にあがるとともだちともバラバラでなかなか会えなくなるし、手話を忘れられたら困るし、月2回ぐらいは開催してほしいと思ってます。
- ・是非、今後も続けてもらいたい。子供にとってとても大切な場所になっています。
- ・通える場所があるのは、とてもありがたいことです。これからもよろしくお願いします。

## 2018年度末アンケートのまとめ 報告

- ・子供はこめっこに来るようになって半年が過ぎました。毎回たのしみにしています。小学生になってもよろしく願います。スタッフ、先生方のお話をきいて親の私も不安やわからないことをぶつけたり、質問できて大変助かっています。ありがとうございます。
- ・色々な所にいる難聴の子供たちが集まるととても貴重な場所なので、ずっと続けて欲しいです。もっとたくさんの人たちに参加して頂けるといいですね。
- ・小さい子供に合わせた話し方を学びたい。
- ・小学生向け手話ろうタイムをしてほしい。聞こえるきょうだいの手話の定着に時間がかかる・・・。
- ・小学生になってももあこめ、楽しみにしていると子供が言っていました。思春期に入った時、こめっこのスタッフさんの姿（前向きで生き生きしている）や、今まで、ぶつかった壁など、子供に直接伝えてもらえるようなこともあれば良いなあと思います。（まだまだ先の話ですが）
- ・進路がバラバラで住んでいる所もバラバラ。今までのように頻繁に会えないので、小学校低学年こめっこがあれば、みんなが集まる場になるし、ろうの人達と接するいい機会になるし、手話に触れることもできるので、メリットしかないと思います。地域に出るので、娘の心のよりどころとしてもこめっこは続いてほしいです。
- ・聴覚障害の子ども割合は他の障害の子どもに比べると少なく、こめっこの活動は、突然わが子が聴覚障害とわかった親にしてみれば、本当にありがたい場所だと思います。たとえひとりのお母さんの助けだったとしてもその活動をつづけてほしいと思います。毎回参加できるわけではないのですが、こめっこの活動があるとわかっているだけで精神的に助けられています。（どこかに相談できる場所があるだけですごいことなんです）これからもよろしくお願いします。
- ・うちは私の仕事の都合上、毎回参加は難しく、久々に参加するというのも多いのですが、スタッフの皆さんは久々参加でも名前も覚えてくれていて、温かく迎えてくださるので、嬉しい気持ちと安堵感が心の中に広がります。いつも有難うございます！うちの子は難聴学級のある小学校に入学します。今までの支援学校でいた時より手話と関わる時間がずいぶん少なくなると思います。なので、「もあこめ」で手話に関われたら有難いです。せっかく覚えた手話も忘れて欲しくないです。よろしくお願いします！
- ・低学年でのもあこめが開催されるとの事で、私も喜んでいきます。ろうスタッフの方に話が出来ると同時に子供にも楽しんで参加できてとても充実した1日を過ごせます。